



スリング保護具 エッチプロテクター 取扱説明書

1.はじめに

- ◆ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読み頂き、内容をよくご理解頂いたうえで、ご使用ください。
また、必要と思われる部署や現場には必ず配布し、必要な場合にはいつでも参照できるようにしておいてください。
- ◆この取扱説明書にある項目は、危険の程度によって次の2段階に区分しています。

 危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況となり、使用者が死亡または重傷を負う可能性が高いと考えられる場合。
 注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況となり、使用者が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が考えられる場合。

◆尚、『注意』に記載した事項でも、取扱い方法によっては、『危険』と同じ状況になる場合があります。

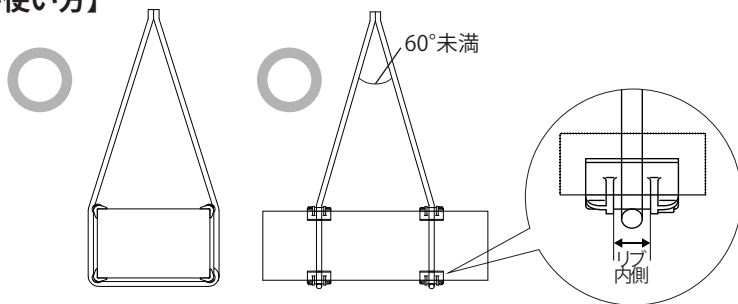
2.ご使用にあたって

危険

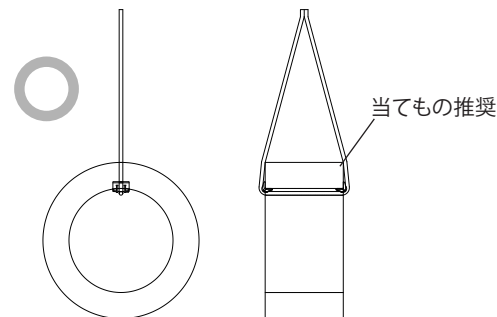
- ◆玉掛け作業は法定有資格者が行ってください。
- ◆使用荷重を確認し、使用荷重以下の荷重で使用してください。
 - ・TB型…1個当たりの使用荷重5 t (4点吊りで20 t)
 - ・TC型…1個当たりの使用荷重5 t (2点吊りで10 t)
 使用荷重をこえて使用しますと事故の原因となります。また、衝撃荷重を掛けしないでください。
- ◆使用前点検で外観上不具合や各部に異常がないか調べてください。外観上不具合や各部の異常がある場合はご使用にならないでください。
点検要領及び廃棄基準については「エッチプロテクター点検要領及び廃棄基準」を参照してください。
- ◆本品の内側全面が、吊荷に密着しない場合には、使用しないでください。
- ◆スリングは本品リブ内側以外で接触しないようにしてください。
ワイヤロープや繊維スリングが本品リブ内側に収まらない場合は、使用しないでください。(インカリフティングスリングの場合、幅35mmまで使用可能)
- ◆吊り角度は60°未満で使用してください。本品からスリングが滑る恐れがあります。
- ◆強度低下及び安全の低下を防止する為、下記の様な改造は行わないでください。
 1. 機械加工等の追加、改造
 2. 溶接
 3. 熱処理
 4. めっき処理 等
- ◆想定していない下記のような箇所で使用しないでください。
 1. 高温雰囲気(100℃以上)
 2. 溶接作業周囲
 3. 腐食性雰囲気(酸、アルカリ等)
 4. 水中
 5. 寒冷地で衝撃のかかる箇所 等
- ◆使用方法については下記の図に基づき使用してください。

【正しい使い方】

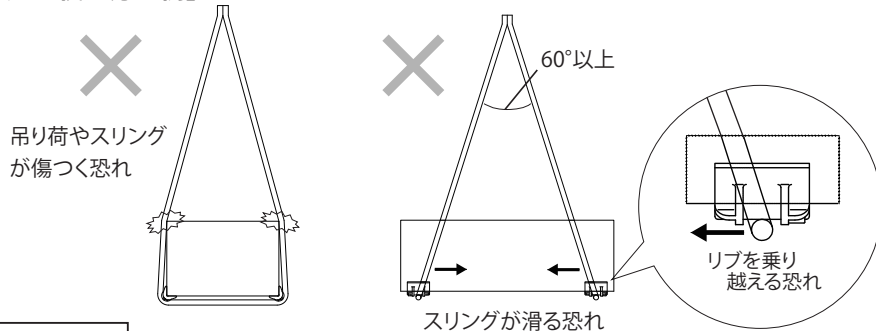
T B 型



T C 型



【誤った使い方の例】



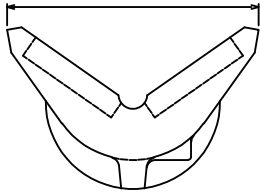
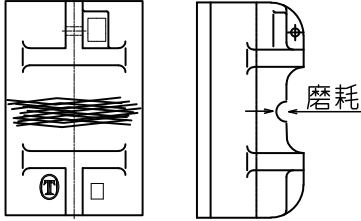
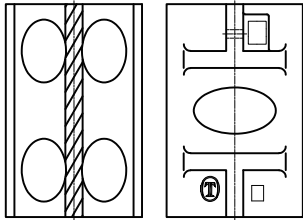
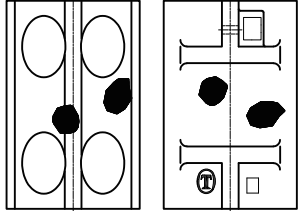
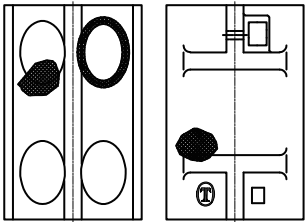
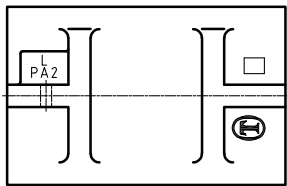
注意

- ◆製品の投下、放り投げ、ハンマー等で強く叩く、重量物の下敷きにする等を行わないでください。
- ◆本品を手で押さえたまま使用しないでください。スリングで手を挟む恐れがあります。
- ◆本品マグネット上に鉄片等を付けたまま使用しないでください。本品が割れたり、磁力が落ちる恐れがあります。

エッジプロテクター 点検要領及び廃棄基準

日常点検 使用前に行う点検

定期点検 定期的に行う点検で、使用頻度によって異なるが、原則として1ヵ月ごとに行う

点検要領	点検頻度	点検箇所	点検方法	廃棄基準
①変形 開き量 	日常点検 定期点検	本体	目視	<ul style="list-style-type: none"> 本体が変形しているもの。 本体が取付不良のもの。
	定期点検	本体	計測機器 (ノギス等)	<ul style="list-style-type: none"> 本体の開き量が元の寸法より5%以上変形しているもの。
②摩耗 	日常点検 定期点検	本体	目視	<ul style="list-style-type: none"> 本体が著しく摩耗しているもの。 (ワイヤロープや繊維スリングが当たる箇所)
	定期点検	本体	計測機器 (ノギス等)	<ul style="list-style-type: none"> 摩耗が元の寸法より10%(1.8mm)以上減少するもの。 (ワイヤロープや繊維スリングが当たる箇所)
③傷・き裂 	日常点検 定期点検	本体	目視	<ul style="list-style-type: none"> き裂があるもの。
	定期点検	本体	計測機器 (ノギス等) 探傷検査 (必要に応じて)	<ul style="list-style-type: none"> ・当たり傷、切り欠きがあるものはグラインダー等でなめらかに削り取り、その深さが元の寸法より5%以上減少するもの。 ・手直し後、カラーチェックを行い、手直し後の寸法が、元の寸法より5%以上減少するもの。 ※中央溝部 (//部) に割れが発生しているものは、手直し不可。
④アークストライク 	日常点検 定期点検	本体	目視	<ul style="list-style-type: none"> ・アークストライクがあるもの。 ※アークストライクとは、溶接を開始する際に、溶接棒を不用意に接触させてしまい、アークを発生させることによって生じるもの。
⑤腐食・さび 	日常点検 定期点検	本体	目視 ブラシ	<ul style="list-style-type: none"> ・使用上有害な腐食、さびがあるもの。
⑥刻印 	日常点検 定期点検	本体	目視	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカー名、ロット番号が読み取れないもの。

※摩耗率を求めるために、購入時にサイズを計測してください。
 ※使用開始日より10年を超えるものは、交換を推奨します。